

発信年月日：平成28年3月10日

| | | | | |
|--------------|------------------------------|---------|-----|------------------|
| 所属部課 | 課長 | 担当職氏名 | 連絡先 | TEL 0837-23-1150 |
| 建設部 都市建設課 | 宗村 憲知 | 主幹 早川 進 | | FAX 0837-22-5155 |
| 件名 | 山陰道（俵山～豊田間）の新規事業採択時評価の結果について | | | |

【内容】

3月10日に国土交通省で開催された社会資本整備審議会道路分科会第13回事業評価部会における費用対効果分析を含む総合的な評価等を行う新規事業採択時評価の審議において、山陰道（俵山～豊田間）の新規事業化が妥当であるとされました。

【これまでの取り組み等】

- ・両市（長門市・下関市）で連携し、山陰道（長門～下関間）の早期整備について、総決起大会の開催や国等へ要望活動を実施
- ・市民の意識向上のための啓発活動等の取り組みの実施

【山陰道への期待】

- ・観光振興、産業振興、救急医療および防災上の観点からも重要な道路
- ・新規事業化への妥当性があるとされたことについては、新規事業化に向けた大きな前進であると考えられ、早期事業着手に地域の期待が高まる

【今後の両市（長門市・下関市）の取り組みについて】

- ・周辺の道路ネットワークの整備や、地域の拠点化、観光・産業の更なる振興など、地域活性化に向け、両市で連携して取り組む

【市長コメント】

- ・市長コメントは別紙のとおり

本日、国土交通省で開催された社会資本整備審議会道路分科会第13回事業評価部会において、山陰道（俵山～豊田間）の新規事業化が妥当であるとの報告がありました。事業化に向けた大きな前進があったことは大変喜ばしいことであり、国土交通省等の関係機関のご尽力に感謝いたします。

山陰道の整備は、九州自動車道、東九州道、中国自動車道、山陽自動車道との接続が格段に向上するため、長門市・下関市両市にとっても観光圏域の拡大、広域的な地域間交流の促進、物流の効率化や利便性の向上など地域経済に好循環をもたらすとともに、大規模災害時に「命の道」の役割を果たし、両市にとって山陰道の整備促進は非常に重要です。

また、現在の俵山～豊田間は急カーブ、急勾配、狭幅員など道路構造に問題のある区間が連続し、両市間の速達性・確実性を確保する意味でも、大変重要です。

今後は山陰道が一日でも早く全線で開通し、中国自動車道と接続されることを期待しております。事業化された際は、国や県、関係の方々と連携しながら、円滑な事業進捗が図れるように努めてまいるとともに、山陰道の整備効果を最大限に発揮するため、期待される観光や産業などの地域の活性化施策について、両市が連携し、取り組んでまいります。

平成28年3月10日

長門市長 大西 倉雄

下関市長 中尾 友昭